No.300　平成27年（2015年）　冬　季　号　11月

広報 東京都製紙原料協同組合

11月号

発行所
東京都製紙原料協同組合
台東区台東3－16－1
TEL（3831）7980
発行人　赤染清康
編集　広報部

「夜の六本木ヒルズ」

〈 主 な 内 容 〉

時の視点
アジアにおける古紙の現状
国際紙パルプ商事（株）
グローバルビジネス製紙原料　営業本部
東日本営業部　貿易課　濱岡大海　2

時の話題
静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会　3～5
東京都資源回収事業協同組合との懇談会　5～7
近藤前理事長「東京都功労者賞受賞」　7～8
支部長就任挨拶　足立支部長　高橋宏明　8
第62回清風会ゴルフコンペ開催
広報部副部長　宮内啓悟　8
組合員のメリット　8～9

支部便り
新組合員紹介　中央支部　渋谷則幸　10
山手支部研修旅行会　山手支部　中谷浩康　10～11

組合員の広場
古い写真の想い出　城南支部　坂田秀一郎　11
段ボールで作ったスマホ用スピーカー
専務理事　夏目　茂　12

支部スケジュール　13
お知らせ
「12月会議・催事予定」「古紙価格」　13～14
会議概要〔9月・10月〕　14～20
編集後記　広報部部長　清水弘允　21
広　告　22～26

時の視点

アジアにおける古紙の現状

国際紙パルプ商事（株）
グローバルビジネス製紙原料　営業本部
東日本営業部　貿易課　濱岡大海

２０１４年の台湾は経済成長に恵まれ、紙業界も好調であった。工業用紙は前年比４％上昇、その次に家庭紙が続くが、白板紙と文化用紙の販売は直近５年間で生産数量が約１５％減と不振が続いている。同国の紙板紙の生産量は１９９０年以降、約７割が板紙、約３割が洋紙と安定的な比率で推移している。大手製紙メーカーである正隆紙業や永豊餘、栄成紙業が同国市場で大半のシェアを占めている。そんな中、永豊餘は年産４０万トンの中芯新マシン、栄成紙業は年産４０万トンの段原紙新マシンをそれぞれ来年に稼働させる予定であり、さらなるシェア拡大を目論んでいる。

日本では中国リスクを避けるため各商社は中国向け古紙の販売比率を下げている。近年販売先として数量を伸ばしているのが、ベトナムやタイなどの東南アジア向けである。

台湾が古紙の輸出を禁止した 2007 年から 2009 年までの２年間及び 2010 年春の一時的な禁止を除き、日本からの台湾向け古紙の輸出は堅調に数量を伸ばしているが、現状のマーケットの規模から大きな伸びは見込めなかった。

そんな中、台湾の大手メーカーはそれぞれ増産を予定していることから、中国、東南アジアに次ぐ古紙の輸出先として期待される。国内古紙の回収率は７０．６%。古紙使用率は７５．７％と決して低い数字ではない。台湾メーカーの主原料は国内古紙だが、増産が迫っている中、今後は輸入に頼らざるを得ないことは必至。国内の古紙回収率を向上させることが今後の課題と言える。

一方、製品の行方はどうか。板紙の需要は堅調だが、国内市場だけでは限界がある。中国同様、中小メーカーの淘汰が進み大手がシェアを拡大するのか、もしくは製品の輸出を拡大するのか。生産拠点を中国から東南アジアへ移す企業が多く、東南アジアは群雄割拠の時代に突入している。現在のところ製紙工場を東南アジアに移設するという目立った動きはないが、各国の製紙マシン増設による製品の供給過剰が懸念される中、台湾メーカーの増産が及ぼす影響は小さくないはずである。

	2012 年	2013 年	2014 年
紙板紙生産量（千トン）	4,229	4,156	4,178
紙板紙消費量（千トン）	4,405	4,329	4,378
紙板紙輸出量（千トン）	1,368	1,358	1,342
紙板紙輸入量（千トン）	1,544	1,531	1,542
古紙回収率	67.20%	70.10%	70.60%
古紙利用率	74.40%	75.70%	75.70%
古紙回収量（千トン）	2,890	2,970	3,010
日本から台湾への輸出量（千トン）	249	305	334
	（内 92.1%が OCC）	（内 88.1%が OCC）	（内 95.8%が OCC）
古紙輸入量（千トン）	865	791	762
	（内 89.2%が OCC）	（内 89.9%が OCC）	（内 93.9%が OCC）

時 の 話 題

静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会

平成２７年 10 月２７日（火）午後 4 時 00 分～
於）ホテルグランド富士
出席者：　静岡県紙業協会家庭紙部会　20 名
（内、家庭紙メーカー　　16 名）
静岡県製紙原料商業組合　　10 名
東京都製紙原料協同組合　　6 名

三団体代表挨拶

イデシギョー（株）井出会長
［静岡県紙業協会家庭紙部会］

現在、家庭紙メーカーのバランスは製品供給が多く需要が少ない。製品値上げが実施されたが、チラシ等の特売をしていないで我慢しているため需要が少ない。１２月に需要期に入るので在庫を作るには丁度いい状態。しかし、原料問屋さんには需要期に安定供給をしてもらいたい。

輸入品のトイレット・ペーパーが減っている。逆に輸入品のティッシュ・ペーパーは２０％増えているので、大手のメーカーが１社増えた量になる。ティッシュ・ペーパーの製品値上げは期待できず､安い輸入のティッシュ･ペーパーが多く入ってきている。再生紙メーカーのティッシュ・ペーパーは頭打ちになっているが、安売りはしない方針である。

赤染理事長　［東京都製紙原料協同組合］

近年、あらゆる国際相場で扱われている原料が急落しているが古紙だけは横ばい状態である。理由は、日本品の品質が良く、中国に輸送するのに距離が近い。中国の紙・板紙の生産量は約１億トンで、日本から中国への輸出は４％だが、中国では少量の良質の古紙をブレンドしないと良い製品が作れないようである。中国の回収率は高まっているが、それでも６０％台で品質が悪く、禁忌品が多いため輸入古紙を使わざるをえないのではないか。
日本国内の洋紙の生産が減っており、古紙の発生はタイトで今後も継続していくと思われる。

菊池理事長　［静岡県製紙原料商業組合］

本日は懇談会の後に懇親会が開かれるので非常に楽しみにしております。又、来月、同じ場所で紙業大会があるので宜しくお願いします。本日は色々な情報交換をしたいと思っております。

古紙全般の市況ついて

赤染理事長　［東京都製紙原料協同組合］

古紙全般はタイトな状況が続いている。紙の生産は１８ヶ月連続の前年割れが続いている。板紙は紙に比べると堅調である。板紙メーカーはバラつきがあるが、夏場は天候不順で青果物用の原紙が良くなかったが、ここにきて原紙の在庫が増えてきた。製品値上げも続行されている。原料問屋の古紙在庫はランニングストック状態。
関東商組３２社のデータでは、裾物３品の発生は前年比で１００％を割っており、メーカーの発注量に対し完納出来ず苦労している。

ＩＴ化により産業古紙の発生が減少している。集荷力が落ちてきており、東京協組のピーク時は組合員数が４６５社あったが、現在は１７１社と激減しており、近年、毎年１０社近くが廃業している。上物を扱っている問屋のヤード数も１６ヶ所閉鎖され集荷力が落ちてきている。
古紙の輸出価格は横ばいで仕入は強含みで推移。鉄、スクラップ類はリーマンショック時の相場まで下がり、中国は、これから年末にかけて期待出来ない模様である。

家庭紙原料について

上田直納部長 ［東京都製紙原料協同組合］

印刷・製本の不況が続いている。出版が不調でチラシが回復していない。9月は8月に比べ悪く、１０月は原料業者の繁忙期だが発生が少ない。製本屋から出る紙の落し量も以前から比べると３分の１程度の量になっている。

オフィス古紙について

髙木委員 ［東京都製紙原料協同組合］

年々、ペーパーレス化によりオフィスで紙の使用が減っている。洋紙の生産･販売が落ちており、紙を使っていない事が顕著に表れている。近々のオフィスミックスの在庫は、７月は良かったが、８月お盆休み、９月シルバーウィークとオフィスがお休みの関係で発生が少なく古紙在庫が減っている。

輸出の雑誌の動向により家庭紙メーカーに影響がある。今年の輸出ミックスは中国の政策上、中小の製紙メーカーを潰していっている状況で雑誌の需要が落ちている。中小の小回りのきくメーカーが無くなっていく事により、中国の大手メーカーに雑誌の使用が集中し、使えない雑誌等のクレームが出てきている。中国では雑誌の需要が集約されて良い品質が求められている。毎年、輸出ライセンス取得のため年末に向け需要が上がるはずが、使うメーカーが減って資金繰りが厳しくライセンスを取るに至らないので、雑誌については年末の仮需はないだろうと言われている。

上物古紙の現状について

鈴木委員 ［東京都製紙原料協同組合］

年末年始における古紙の市況と原料業界からのお願いについてお話したい。

中国は減速しており、鉄、スクラップ、廃プラは大幅に下がっている。原因は中国に需要がなく日本国内にも需要がないため。

古紙は何故、下がらないか。中国で需要がある事と、日本国内でも需要が高水準でタイトである。中国の年間の生産量は大幅に下がるわけではなく日本は近いのでオファーが非常に多い。発生が減っているにもかかわらず国内の洋紙メーカー、板紙メーカーは過剰設備で作った製品を輸出している。これがある限り国内の需要は続く。古紙が下がる要因は、中国の需要が減るか、日本国内の製品の輸出がなくなるかである。

集荷業者については、大手印刷会社が中小の印刷業者の仕事を取り、大手に集約されている。下請けの印刷会社から仕事を頂いている集荷業者の仕事がなくなっていき、数量も減り、後継者もいなく廃業していく。今、残っている集荷業者は、ある程度の組織力がある所。組織力があって新しい得意先を開拓していこうと思っても、人手が足りず、目先の事に忙殺されてしまう。先週の東京協組の集直合同会議でも、まだ集荷で掘り起こしていける古紙があると言っていた。

集荷業者、原料問屋、メーカーが三位一体の中で、メーカーの方は集荷の状態を直視してもらいコミュニケーションをとってもらいたい。東京の集荷の現場を、我々、原料問屋と訪問するなり、声を聴くなりして何か提案がないかメーカーさんも、是非、力を貸して頂きたい。そして古紙の掘り起しをして集荷を助けて頂きたい。

静岡の状況について

［静岡県製紙原料商業組合］

①　発生はタイトで在庫はランニングストック。８月のお盆休み、９月はシルバーウィークがあり印刷・出版屋が休みを取る所が多かった。休み明けにメーカーから注文があっても古紙在庫がなく納入出来ない事があった。年末に良く出るカレンダーや来年用の手帳が７月、８月に今年は出てい

た。今後、年末に向けて発生が少ないのではないかと心配している。

②　上物の発生は非常にタイト。洋紙メーカー国内販売量の減少と輸出量が増えている事を考えると、今後も上物の供給量は減っていくと考えられる。我々も取り扱い量も減っていくので、何かをしていかないといけないと思っている。

③　古紙センターによる中日セミナーが中国で開催される。古紙の利用技術について日本の評価が高い。上物は海外でも消費が増えており、特に南アジアでの需要が伸びている。上物は国内外で需要があるので余剰は考えにくい。今後不足していく分、古紙の掘り起しを考えていく必要がある。

家庭紙メーカーの現状

［静岡県紙業協会家庭紙部会］

・古紙在庫は今のところ何とか確保できている。しかし、年末に向け順調に納入できるか不安である。

・ミックス古紙、紙パック、紙コップ等の原料使用を増やして家庭紙原料に対応している。

・原料確保が厳しい状態なので、トイレット・ペーパーをミニサイズにして少しでも供給出来るよう考えている。

質疑応答

Ｍ：メーカー　　Ｇ：原料問屋

Ｑ－Ｍ：行政の競争入札で、ある所で非常に高い入札価格が見られた。採算を度外視した価格が出ているが原料団体ではどのように考えているかお聞きしたい。

Ａ－Ｇ：地方で現在問題になっている高値入札がある。阻止をするために東京協組と静岡商組が所属している関連団体である全原連では、古紙商品化適格事業所の資格を有していないと入札に参加出来ないよう自治体に要請をしている。難しい問題ですぐには解決できないでいる。

東京都資源回収事業協同組合との懇談会

平成２７年９月１０日（木）午後５時～

於）上野・精養軒３１５３（サイゴーサン）

出席者：東京都資源回収事業協同組合　13 名

　　東京都製紙原料協同組合　　11 名

赤染理事長　挨拶（東京都製紙原料協同組合）

ここ何年か意味のある意見交換会が続いていると感じている。経済面では、中国の元切り下げの影響による世界的な株安。環境面では、地球温暖化による豪雨などの影響で資源物が弱い状況になっています。本日は情報交換を通じて何か、突破口がないか探っていきたいと思っております。

古紙では全原連が推進しているＪ－ＢＲＡＮＤ表示ラベルの普及に協力していきたいと考えています。

吉浦理事長　挨拶

（東京都資源回収事業協同組合）

組合員数が年々、減っている。しかし、地域組合で活動している人が増え、組合に係る人数は増えている。先日、東京都に持ち去り問題と入札の実施に関しての要望を出しに行ってきた。特に混

合回収による問題では区民に分別させておいて、回収は混合では市民の理解を得られず、リサイクルが止まってしまう可能性がある。お互いの組合が一致団結してリサイクルを守っていかなければならないと思っています。本日は色々な意見をお聞きしたいので宜しくお願いします。

古紙業界の現況（東京協組）

1. 古紙全般に関する現況「上田直納部長」

輸出価格については、段ボールは思ったより下がらなかった。新聞は横ばい。雑誌は悪い。中国の市況については大変難しい状況である。国内市況は、段ボールは順調で新聞も横ばい。雑誌は少し不安がある。発生は３品とも８月と９月は悪い。

2. 産業古紙の現況「上田直納部長」

日本の雑誌の発生は低い水準。マガジン類は最盛期に比べると３分の１に減っている。雑誌類の生産が落ちれば、印刷・製本に回る数量も減り、産業古紙の発生が少なくなる。広告媒体として使われているチラシの数が減少している。今後も産業古紙の発生は毎年減少していく。

3. 集荷にかかわる現況

「近藤（昌）副理事長・山口事業部長」

古紙の発生が悪く、印刷・製本会社の景気が良くない。下請けの仕事が減少している。今年６月から特に悪い状態が続いている。現在は集荷帰りのトラックはスカスカ状態の日が多い。９月に入り少し忙しくなってきたが、今後の発生減が不安材料である。

東京協組の他に江戸川区の集団回収と資源回収にも参加している。雑誌と新聞の量が年々、減っていく傾向にある。

資源回収業界の現況（東資協）

１. 回収業者の現状

毎年回収量が減少しており、少しでも回収量を増やしたい。

今年度は区への計量伝票の提出や、回収業者登録制度など透明性のある集団回収システムの再構築が課題。各区市町村により対策は異なるが、地区により様々な取り組みが実施されている。今後は目検量や混載の禁止等の見直し。高齢化している回収業者への負担やコスト増は避けられない状況。

現在、東資協加盟１８９社、その多くが行政委託業務に依存。委託雇用業務だけでなく、各支部によって選別加工やリサイクルセンター運営等も受託しているが、随意契約から入札への変更に不安を感じている。

２. 今後の課題

① 新規事業の開拓

長年培ったノウハウや回収体系を活かしつつ新規品目の追加、新規事業の開拓。古紙回収だけでは先細り、体力の無い業者が弱体化していく事は避けなければならない。

② 委託業務随意契約の維持

リサイクル事業においては清掃事業と同様、安定した運営と継続性が重要。また、中小企業の支援、若手人材の育成、継続雇用の観点から入札よりも随意契約が望ましい。

３. 今後の展望

各地でゴミ減量、資源化は常識で、各自治体もゴミ政策としてリサイクルを重要視しているが、我々業界は清掃事業ほどの安定は期待できない。

リサイクル事業は入札対象外とし、地元業者を中心に循環型社会の構築を目指さなくては、継続性と信頼感を勝ち取ることは出来ない。

業界の枠を越えた団結が必要であり望まれる。

質疑応答

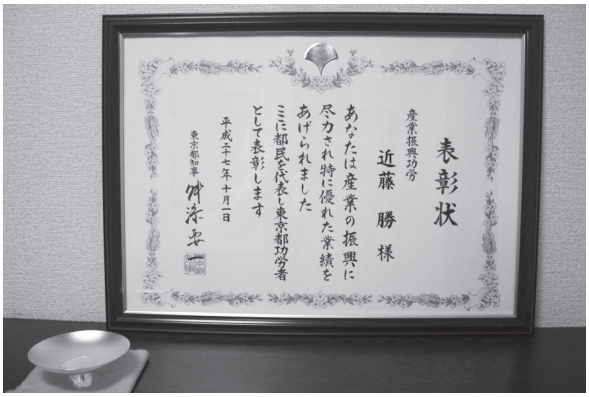
特に質疑がなかったので、東京協組より入札や、混合回収に関連した事項の話をした。

入札については、古紙商品化適格事業所や廃棄物再生事業者登録等の資格がないと入札に参加できないよう行政に要請をしている。又、混合回収や分別に関連して、日本の古紙の品質を証明するためＪ－ＢＲＡＮＤ表示ラベルの普及に取り組でいる。

近藤前理事長「東京都功労者賞受賞」

平成２７年１０月１日、東京都より近藤前理事長に東京都功労者賞が贈られました。おめでとうございます。

近藤前理事長は、東京協組の理事長を４期、８年に渡り遂行され、数々の組合貢献をされました。表彰は、東京都功労者の中の産業振興功労の受賞となります。



尚、受賞記念祝賀会は、ご本人のたっての希望により参加者を限定し理事及び元理事と清風会ＯＢによる祝賀会となりますのであらかじめご了承ください。

開催日時は、平成２７年１２月７日（月）上野・精養軒に於いて行います。

以下は、近藤前理事長より皆様へのお礼の言葉です。

「この度、平成２７年１０月１日（都民の日）都庁に於きまして都知事より産業振興功労者表彰を受賞致しました。当組合に於きまして副理事長

４年、理事長８年という活動に対しての受賞でございますが、これも偏に各理事さんを始め組合員の皆様方のご協力、ご支援によるものと心から感謝申し上げます。今後も一層気を引き締め業界発展の為に努めて参る所存でございますので、引き続きご指導ご鞭撻賜りますよう宜しくお願い申し上げます。」

支部長就任挨拶

足立支部長　高橋宏明

この度、足立支部長に就任しました㈱丸十商店の高橋宏明です。前支部長の赤松さん大変にお疲れ様でした。

４月の支部総会にて支部長に推薦され驚いております。知識や経験豊富な諸先輩がたが多くいる中、私のような若い自分がこのような大任を仰せつかって正直大丈夫なのかと思っています。また、ここ数年組合員が減少しつづけていますが、少しでも皆様が行事や支部会に参加してもらえる様に頑張りたいと思います。

まだまだ、未熟者ではありますが皆様から助けて頂きながら頑張っていきたいと思います。何卒宜しくお願いします。

第６２回清風会ゴルフコンペ開催

広報部副部長　宮内啓悟

１０月９日 (金) に清風会のゴルフコンペが筑波カントリークラブにて開催されました。

当日は、秋晴れで最高のゴルフ日和でしたが、翌日日経カップの決勝戦が開催されるという事もあり、ゴルフ場は大会仕様になっていました。

ラフに入れるとボールを探すのに時間がかかり、グリーンはとても速く苦戦しましたが、ハンディが３６も付いていた為、優勝する事が出来ました。

成績は、　優　勝　　宮内　啓悟

準優勝　　清水　弘允

３　位　　齋藤　浩二

ブービー　廣田　圭吾

組合員のメリット

全　体

1. 市況情報の入手
2. 組合員証明書の発行
3. 支部会の参加
4. 総会の参加
5. 新年会の参加
6. 他団体との懇談会の参加
7. 従業員表彰への参加
8. ゴルフコンペの参加
9. 若手従業員の青年部加入

割引利用

1. 団体生命保険への割引加入
2. 団体傷害保険への割引加入
3. 自動車共済保険の割引加入
4. ガソリンの割引購入

5. 高速道路の割引利用、ポイント利用
6. プレス機のオイル交換の割引利用

全原連関係

1. 古紙再資源化証明書の利用
2. 古紙商品化適格事業所の資格取得
3. 古紙リサイクルアドバイザーの資格取得
4. Ｊ－ＢＲＡＮＤ表示ラベルの購入

関係団体

1. 静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会の参加
2. 製本工組との懇談会参加
3. 東資協との懇談会参加
4. 紙器組合との懇談会参加
5. 古紙再生促進センター関係行事の参加
（古紙リサイクルセミナー他）

直納関係

1. 直納部委員会の参加
2. 共販輸出への参加
3. 海外研修の参加（集荷部参加可能）
4. 納涼会・忘年会の参加

集荷関係

1. 集荷部委員会の参加
2. 新年会の参加

広報関係

1. 広報誌の配布（各種情報の入手）
2. 広告の有料掲載（暑中・年賀）

共同購入
「プレス機のオイル交換について」

共同購入委員会

共同購入事業のプレス機のオイル交換の時期がやってまいりました。
組合を通じて通常より格安での交換が可能となります。すでに実施した事業所では、処理のスピードや細かな対応について高い評判を頂いております。
見積もりを取って比較して頂けると分かりますが、**１，０００リッターのオイル交換で・・約５万円近い差が出ております。**
又、日曜、祝日、朝早い時間等の作業も可能です。
どうぞこの機会に是非、ご利用くださいますようお願い致します。
手続きは簡単です。組合にご連絡いただき**「プレス機オイル交換申込書」を受取り、必要事項を記入し組合宛てにお送り下さい。**
交換時のレート（２ヶ月に１度変更されます）は、申込書の送付時にご連絡いたします。又、給油条件により追加金が発生する場合がありますので、あらかじめご了承下さい。

［都市近代化事業組合の事業利用について］

① ＥＴＣカード

指定の高速道路が割引運行出来ます。
首都高速の割引利用が出来る事になりました。
（ご利用の場合は新しいカード作成が必要です）
ポイント可の高速道路でポイントが溜まると、そのポイント分が無料走行で使えます。

② ガソリンカードのご利用について

ご存知ですか？

組合では、皆様のお仕事に少しでもお役にたてるよう色々な事業に取り組んでおります。
ここのところガソリン価格が変動しております。
組合では、皆さまがお使いになっているトラックや乗用車のガソリンや軽油を少しでも安く購入で

きる事業があります。
都市近代化事業組合が行っている事業を通じてガソリンを購入されますと・・・**全国平均と比べてハイオク･レギュラーガソリンが約３円ほど安く、特に軽油が約９円ほど安く購入できます。**
(その時の価格変動により大きく値動きがある事がありますが、あらかじめご了承ください)
専用のカードを作り、該当するスタンドで使用すると自動的に割引料金でカード決済されます。

③ 自動車共済保険
現在、割引を受けている保険料から、さらに約２０％ほどの割引いた保険料となります。

④ カーリース事業
提携リース会社を利用する事により有利なリースが可能となります。
組合員であれば、どなたでもご利用できます。

[各種団体保険]
① 生命保険（団体保険の割引加入）
② 損害保険（団体保険の割引加入）

プレス機のオイル交換、ＥＴＣカード、ガソリンカード、自動車共済保険、カーリース事業、各種団体保険のいずれも、東京都製紙原料協同組合に加入されている組合員の皆さまの特権です。
ご希望､ご質問は組合事務局までご連絡ください。

連絡先：　東京都製紙原料協同組合
電　話　０３－３８３１－７９８０
ＦＡＸ　０３－３８３１－７８８０

支　部　便　り

新組合員紹介

中央支部　渋谷則幸

昨年５月に東京都製紙原料協同組合に加入いたしました、ＪＰ資源株式会社　代表取締役社長渋谷則幸です。
弊社は日本紙パルプ商事株式会社の古紙再資源化の子会社として昭和４８年に紙パ資源として設立されました。以来、一貫して紙のリサイクルに取り組んでまいりましたが、業界におきましてはまだまだひよっ子でございます。この度、歴史ある組合の一員となりましたことは光栄であり、組合で回収業界の方々と交流を持てることは非常に有意義だと感じております。
今後、組合員の皆様方と共に活動することで組合の更なる発展に貢献できますように努めてまいりたいと思いますので、ご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

山手支部研修旅行会

山手支部　中谷浩康

去る、９月５日（土）～６日（日）に鬼怒川温泉へ研修旅行に行きました。参加人数は５名と少し寂しかったです。
６時より長井支部長の乾杯で宴会が始まり、綺麗どころも加わり、会話もはずみ楽しい時間があっ

という間に過ぎてしまいました。
翌日は鬼怒川のライン下りをして帰路に着きました。
お天気にも恵まれて有意義な研修旅行でした。

組合員の広場

古い写真の想い出

城南支部　坂田秀一郎

この写真を撮ったのは私であるが、撮影した場所も何処だかトント不明である。昭和の後半頃は理事長が中心となり理事の方は奥伊豆、岩手県などに旅行する楽しみがありました。
上田晴康元理事長が奥様を同伴され花巻温泉の「佳松園」旅館にも行った事がある。この旅館は昭和天皇もお泊りになった由緒ある旅館で、新館の周囲が赤松でセパレートされた素晴らしい旅館でした。中央支部長の武藤秀雄氏は東京から粋な浴衣を持参して宴席に現れたことを覚えている。
当時、王子製紙は古紙を余り取り扱ってなく本州製紙、摂津製紙、大昭和製紙、大王製紙等が主の時代であった。新聞古紙がキロ５０円に上昇した時、上田晴康元理事長は「通産省」に呼ばれて、やがて、それから次第に値下げ方向へと向かいました。北越製紙にも古紙の値下げの要望がありチップを３万トン輸入するとの通告があり価格が下がっていきました。実際にはそんなに輸入しないのだが、これに屈服してしまいました。
赤染次郎元理事長、並びに冨澤元理事長時代も奥伊豆などに行きました。夫婦同伴が主で一人参加は肩身の狭い思いをしました。
この写真がいつの頃かハッキリ分かりませんが、名古路栄一ご夫妻、赤染次郎ご夫妻、当原ご夫妻が写っております。良く分かりませんが古紙業界全盛時代の１枚です。
この時代は、カラオケが無くてテープで流して、それで歌っておりました。赤染次郎元理事長は「伊豆の雨」と言う歌が好きで、前田隆司氏がチャカしておりました。この時は組合会館前からマイクロバスで目的地へ出発しました。この写真の中の５名の方は故人となられました。

上段左から　名古路栄一様、赤染次郎様、
名古路百合子様、冨澤禮子様、前田婦人、
赤染朋子夫人、當原博子夫人
下段左から　當原様、長井保元副理事長、
武藤秀雄元青年部長・中央支部長

段ボールで作った　スマホ用スピーカー

専務理事　夏目　茂

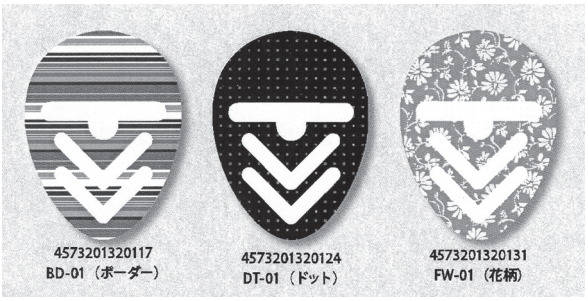
日頃、私は紙を使った面白い物がないかと探していました。休日の土曜の朝にテレビを観ていたら、特殊段ボールを使いスマートホン用スピーカーを作っている会社を訪ねる番組の放映がありました。テレビで内容を確認していたので、さっそく組合広報部として取材を申し入れました。

会社は、ＪＲ新橋駅から徒歩で８分位にある（有）アイ・エイチファクトリー。

代表は、四代目の長谷川慶社長。もともとは、創業１００年を越える内装デザイン会社が生み出した製品でした。初代は、絵看板を書いていたそうで浅草六区では有名な方でした。現在は、展示演出企画制作、販促媒体の製作、企業媒体の製作、文化施設・商業施設設計施工等の仕事を行っている会社です。

商品名は「**econo-tone**」エコノトーンといい電源不要のエコで丈夫な再生紙だけで作り上げたスピーカーです。作ったきっかけは、スマホのスピーカーを段ボールに当てたら音が大きくなることに気付いた事からだそうです。１年以上試行錯誤して今年の６月に完成したばかりのオリジナリティあふれるスピーカーとなっています。

エコ素材（リサイクル）のミルダン（特殊ダンボール）の特性を生かし、電源不要で軽量、コンパクトな点が特徴です。　＊スマホのスピーカーが下（底）にあるタイプに適用



販売は展示会以外では、渋谷のロフト、アマゾン（ネット通販）、自社通販（ネット）で購入できます。

価格は、１，８９０円

興味のある方は是非、お求め下さい。

会社：（有）アイ・エイチファクトリー

電話：**03-5777-1901**　FAX：**03-5777-1910**

住所：〒 105-0004　港区新橋 6-8-1 相川ビル 2F

ホームページ：　http://mono-flame.com

参考：過去のテレビ放映

テレビ東京「ＷＢＳトレンドたまご」

日本テレビ「ぶらり途中下車の旅」

♪ことわざミニ知識♪

「親の心、子知らず」

親がどれほどの愛情を注ぎ、どれほど苦労しているか、当の子供は気付かない。

子供は親の望むような振る舞いをしないものだということ。

確かにその通りだと思うが、それではその親が子供の時、どれほど親の愛情を理解し望むような振る舞いをしていたか。親子関係は、矛盾に満ちた関係を繰り返すのかも知れない。

支部スケジュール

千代田支部

支部会・忘年会　１２月１０日（木）菜の家
支部会　１月～２月は未定　〃

中央支部

支部会　２月１２日（金）きくち

文京支部

忘年会　１２月１１日（金）上野・精養軒
支部会　２月１８日（木）すし常本店

台東支部

支部会　１２月～２月開催予定なし

荒川支部

支部会は未定

足立支部

支部会は未定

山手支部

忘年会　１２月１９日（土）鮨やなぎ
支部会　２月は休会

城南支部

忘年会　１２月　５日（土）すしやの中村
１月又は２月　新年会「熱海又は湯河原」

江墨支部

忘年会　１２月１９日（土）うさ美
支部新年会　２月２０日（土）うさ美

城北支部

支部会　１２月～１月は休会
２月は未定

◎直納部委員会及び忘年会

平成２７年１２月１７日（木）
場所：「根ぎし　宮川」
午後５時～直納部委員会
午後５時３０分～忘年会

◎組合事務局・年末年始休暇

平成27年12月29日(火)~平成28年1月4日(月)

◎第１２回 組合合同新年会

平成２８年１月１６日（土）
午後６時～
場所：上野・精養軒

組合会館テナント募集について

組合では現在、組合会館の２階の事務所使用者を募集しております。詳細は下記のとおりです。
場所：台東区台東3-16-1　製紙原料会館２階
建物：鉄筋コンクリート造　４階建ての２階部分
面積：約３２．１３㎡（９．７２坪）
交通：日比谷線「仲御徒町」駅　徒歩２分
　　ＪＲ山手線「御徒町」駅　徒歩５分
賃料は合わせて周辺の相場価格に設定してあります。お申込み、お問い合わせは組合事務局まで。

お 知 ら せ

［１２月会議・催事予定］

12月　7日(月) 共販輸出検討委員会 (pm2:30~)
〃　常任理事会 (pm3:00~)
　　理事会 (pm4:00~)
〃　清風会　講習会 (pm5:00~6:30)
〃　近藤前理事長
「東京都功労者賞受賞記念祝賀会」(pm6:30~)
　　上野・精養軒
12月11日(金)　文京支部　忘年会 (pm6:30~)
　　上野・精養軒
　　赤染理事長、夏目専務理事

12 月 17 日 (木) 直納部忘年会
直納部委員会 (pm5:00~)
忘年会 (pm5:30~)
「根ぎし　宮川」
12 月 19 日 (土) 山手支部　忘年会 (pm7:00~)
「鮨やなぎ」
赤染理事長、夏目専務理事
12 月 29 日 (火)~1 月 4 日 (月)
事務局年末年始休暇

［古紙価格］

［東資協の古紙 4 品の標準売値］

平成 27 年 10 月 9 日現在

新　聞	9 円～ 12 円 (横ばい)
雑　誌	7 円～ 10 円 (横ばい)
段ボール	9 円～ 11 円（横ばい)
色上（並）	―

会議概要［9月・10月］

9 月度定例理事会

［平成２７年９月４日（金)］於）組合会議室
出席理事３１名・監事０名

赤染理事長挨拶

本日は、裾物の共販輸出の件、直納部海外研修の件、近藤前理事長の東京都功労者賞受賞後の祝賀会について。それぞれどうするか、決めていきたいと思いますので宜しくお願い致します。

［各部報告］

［総務部］

組合会館を今後どうするか、常任理事会で検討していきたい。

［直納部］

９月度の共販輸出は３社が入札に参加した。入札の結果は、国内を上回る価格で日本紙パルプ商事（株）が落札した。仕向地は中国で、業者の報告では「中国各社、依然、需要が少なく生産も少ない」。また他社のコメントでは、①「引き合い低調、ドル下落傾向で為替不安定」②「輸出国側の古紙需要が旺盛なため、輸出余力は制限されていることから一部の品種では輸出価格が底打ちしました。中国の紙及び板紙製品需要の回復に時間を要しているため、古紙輸出価格は小幅上昇に留まっている」との事。

輸出は、現在、需給が引き締まっており予想が難しい状況。古紙市場は回収減が継続中、それに準じて古紙在庫も減少傾向。

問屋在庫はランニングストック状態。

裾物の共販輸出の直納部員向けアンケート実施結果は、段ボールとミックスで輸出参加希望者の数量がそれぞれ、２５０トン前後であった。希望していた半分の量であったが、実施の方向で話を進めていく。

タイの海外視察研修は諸般の事情により延期と致します。視察先（海外、国内）等については検討し、後日お知らせ致します。

［品目別］

［段ボール］　輸出市況：中国は夏季休転により古紙在庫が適正在庫になりつつある。古紙輸出国での古紙発生が低調なため、輸出市場に底打ち感が出始めている。

７月の上旬から８月にかけ猛暑の影響で飲料系の出荷が伸び販売は好調。原紙を輸出しているメーカーの生産は順調。

段ボールの輸出価格は下がったが､国内は横ばい。回収が減少しており、どこの古紙問屋もランニングストック状態。

［新聞、雑誌］　輸出市況：新聞は国内メーカーの買い入れが強化され､輸出に回る余裕がない状況。雑誌は、中国の白板販売が振るわず製品、古紙とも在庫が多く購入意欲は低い。雑誌市況の回復は

遅くなる見込み。
新聞の出荷量は１７ケ月連続の減少。国内メーカーは古紙の発生減により９月も積極購買姿勢を継続。広告媒体として振るわないため新聞や雑誌の発生が悪い。
［家庭紙］ 家庭紙原料の発生は低調。家庭紙メーカーは製品価格の値上げが順調に進み古紙物のシェアが回復してきた。
［返本］ ８月の発生は前年対比９６％。雑誌、出版物は広告がとれない。その中で書籍は「火花」が売れており良い傾向である。

［集荷部］

８月の発生は悪かった。雑誌の輸出価格が下がっている事と中国の状況が心配である。

［広報部］

９月２日に広報委員会を開催し「組合ホームページの改定」について検討した。広報正副部長、専務理事と紙業タイムス社が参加し、古い記事の更新や追加内容の討議をした。修正点、追加点が多く費用がかかるので見積書を作成してもらい、１０月の理事会で提出予定である。

［事業部］

ガソリンカード・ＥＴＣカードの推進や共同購入の引き続きの利用をお願いしたい。

［青年部］

９月１７日に東資協青年部と合同の親睦会を池袋で開催する。

［審議・検討事項］

1. 組合脱退

中央支部：(有）篠原商店 (代表 篠原久次) 廃業の為 平成２７年８月３１日付
足立支部：後藤紙業（代表 後藤徹郎）廃業の為 平成２７年８月３１日付
荒川支部：向井産業（株）（代表 向井 欣三）廃業の為 平成２７年８月３１日付
以上３名の脱退・・・原案どおりで可決

2. 集荷部委員の廃止について：現在の集荷部委員制度を廃止し、名簿には正副部長のみの記載とする。
3. 組合会館の外壁修理について：隣のビルの補修が終わり次第、組合会館の西側外壁の修理を行う予定。（１２月前後）
4. 近藤前理事長の東京都功労者賞について：１０月１日に都庁で表彰式。祝賀会を美濃紙業（株）と組合で実施するか検討する。

［その他、報告事項］

・トヨタＬ＆Ｆ東京（株）が理事会前に説明会を開催した。先方から組合への賛助会員等や共同購入についての提案があった。

古紙センター関東地区委員会

［平成２７年９月２５日（金）］ｐｍ２：００～
於）古紙センター会議室

［需要動向］ 15／８月 単位トン、
（ ）は対前年同月比、在庫の（ ）は在庫率

［関東商組 32 社実績］

［新 聞］	仕入	56,828(99.8%)
	出荷	58,259(99.5%)
	在庫	8,119(13.9%)
［雑 誌］	仕入	45,942(100.6%)
	出荷	45,581(96.9%)
	在庫	7,853(17.2%)
［段ボール］	仕入	128,374(102.7%)
	出荷	128,038(101.7%)
	在庫	9,998(7.8%)

［関東・静岡実績］

［新 聞］	入荷	200,292(99.9%)
	消費	21,492(97.8%)
	在庫	137,663(64.2%)
［雑 誌］	入荷	97,145(97.7%)
	消費	99,613(101.8%)

	在庫	38,614(38.8%)
［段ボール］	入荷	277,285(101.1%)
	消費	267,188(97.2%)
	在庫	91,567(34.3%)

［業者側コメント］

［新聞・雑誌・段ボール］

８月の発生は前月比でマイナス、前年比では段ボールが若干のプラスで新聞・雑誌は横ばい。在庫は新聞が減少しており、９月の発生も悪い模様。輸出価格は段ボール・雑誌が横ばい、新聞は若干の上昇。

［上物古紙］

８月の東京協組４３社上物古紙データでは家庭紙向け・ＤＩＰ向けとも前月比でマイナス、前年比でプラスになっている。上物古紙は慢性的な発生不足。家庭紙メーカーからは引き合いが強く、秋需に向け在庫を確保していく動きが多く見受けられる。

［メーカー側コメント］

８月の新聞古紙は発注が横ばい、入荷は低調、在庫は減少。９月も同様で特に入荷は８月よりも悪い模様。雑誌古紙の発注は横ばいで入荷は減少、在庫も減少。９月も同様の予想で、消費が悪く雑誌から段ボールへの振替が見受けられる。

段ボールの生産量は７月、８月、９月と若干の増加。８月の発注は横ばい、入荷は横ばい、在庫は増。９月は発注・入荷とも８月と同様だが在庫は８月より増える予想。

古紙センター業務委員会

［平成２７年１０月１日（木)］ pm2：15 ～

於）古紙センター会議室

［1］ 集団回収実施団体への感謝状交付について

（中部地区委員会、近畿地区委員会）

［2］ 古紙の需要・市況動向について

＊ページ数の都合で割愛させて頂きます。

全原連 平成 27 年度 第４回 理事会報告

平成 27 年 10 月 1 日 (木)　15:15 ～ 16:45

古紙再生促進センター

理事・監事６５名：出席　３４名　欠席０名

Ⅰ　主要議題

（1）古紙商品化適格事業所及びＪ－ＢＲＡＮＤ表示ラベルの普及

（2）古紙リサイクルアドバイザーの認定申請

（3）ＢＩＲプラハ会議派遣計画の見直し及び第４回中日古紙セミナー派遣計画

（4） アジア紙リサイクル構築支援事業に係る専門家派遣

（5） 古紙持ち去り行為撲滅に係る事業者名の公表（中部商組）

（6） 機密抹消国際セミナーへの協賛（後援名義及び支援金）

（7） 理事の逝去に伴う対応

（理事会及び業務委員会）

Ⅱ　諸議題

1. 各委員会活動報告

（1）経営革新委員会

９月３日需給委員会、渉外広報委員会との合同委員会開催

（2）需給委員会

９月３日合同委員会開催

（3）IT 推進委員会

（4）渉外広報委員会

９月３日合同委員会開催

Ⅲ　その他報告事項

１． 業務委員会（10 月 1 日開催）

２． リサイクルシステム議員懇談会

（9 月２日開催）

３． 古紙持ち去り意見交換会（9 月８日開催）

４． 地域組合別Ｊ－ＢＲＡＮＤ説明会

１０月度定例理事会

［平成２７年１０月５日（月）］於）組合会議室
出席理事２４名・監事０名

赤染理事長挨拶

組合会館を今後どうするか、大変大きな問題なので来年より具体的な方針をたて話し合いを進めていく。

市況は今のところ古紙の輸出価格は横ばいだが、多くの輸出品が急落している。中国経済が不安をかかえており今後、古紙価格にも影響が出る事も考えられる。本日は色々な情報を出していただき討議していきたいと思います。

［各部報告］

［総務部］

今後の組合会館運営をどうするか、常任理事会で検討していきたい。

［直納部］

１０月度の共販輸出は３社が入札に参加した。入札の結果は、国内を上回る価格で国際紙パルプ商事（株）が落札した。仕向地は中国で、業者の報告では「日本国内の需要が旺盛なため輸出余力が制限され、一部の品種では輸出価格が底打ちしました。ただ、中国では紙板紙需要の回復に時間を要しているため輸出価格は小幅上昇に留まっています」また他社のコメントでは、①「中国各社、国慶節を挟み依然需要少なく生産も少ない」②「古紙の引合いは落ち着き気味」

視察研修は国内外とも、年内は実施しない。

［品目別］

［段ボール］　輸出：中国経済停滞と人民元安による古紙コスト上昇により価格は横ばい。中国メーカーは輸入古紙から国内古紙に購入をシフトしたことから、中国国内の古紙価格が上昇し、これ以上国内品を増やせられない環境になっている。

今後の見通しとして、１０月は引き続き日本国内の古紙需要が旺盛で、１０月～１１月後半まで強含みで推移し、その後、１２月に米国がクリスマス商戦による古紙発生増を迎えるので弱含みに転じるのではないかと思われる。

［新聞、雑誌］　雑誌は国内価格が下げ止まり状況である。中国メーカーは操短のため購入意欲は弱い。白板メーカーは国内外を問わず製品市況が振るわない。

新聞の国内価格はプレミアム価格が輸出価格を上回っており、輸出はますます減少傾向。

［家庭紙］　上物古紙の発生は、産業系・事業系とも低調に推移。原因は出版不況と広告媒体の多様化にともなう商業印刷の低迷に象徴されるように、紙の需要減が発生減に繋がっている。産業古紙は秋以降、年間最大の発生期に入るが発生基調は依然、弱含みに推移すると思われる。

家庭紙は前年を上回る工場払い出しとなっているが、再生品については各メーカーとも生産・出荷は前年を若干､下回っていると思われる。しかし、メーカーの家庭紙古紙の購入姿勢は依然として強い。問屋の在庫状況は発生が悪いため在庫レベルは低く、需要は強含みに推移すると思われる。

［集荷部］

９月の発生は悪かった。印刷・製本関係からの仕事が少なく集荷は厳しい状態が続いている。

［広報部］

広報１１月号は「時の視点」で東南アジアの古紙事情に関しての記事を国際紙パルプ商事（株）に書いてもらう予定。他に、まだ紹介していない業務部長（直納部長）と支部長（足立支部長）の挨拶、新組合員の挨拶等の掲載予定している。

組合ホームページの改定では、紙業タイムス社より古い記事の更新や追加内容の記載にかかる見積の提示があった。費用は合計１５万程度で行う予定で、この中には組合案内（１枚両面刷りの印刷物）の修正も含んだ費用が入っている。

理事会にて審議の結果、承認を得た。

［事業部］

ガソリンカード・ＥＴＣカードの推進や共同購入の引き続きの利用をお願いしたい。９月末の半期で「あんしん財団」の損保加入者が１０９名となった。加入者が半期で１００名を越えたので、加入者の手数料収入と手当が増えた。

［青年部］

９月１７日に東資協青年部と合同の親睦会を池袋で開催した。

１０月２０日に幹事会と部会を開催し、１１月６日～７日の日新工業（株）山形工場の視察会の検討をする予定。

［近代化推進委員会］

需給委員会：Ｊ－ＢＲＡＮＤ表示ラベルを国内８０％に普及させる予定でいる。

［支部報告］

支部会・忘年会の日程

千代田：12/20 に支部会と忘年会、

中央：10/23 支部会、 文京：12/11 忘年会、

台東：11 月末忘年会、荒川：11/28 忘年会、

足立：11 月末支部会と忘年会、

山手：12/19 忘年会、 江墨：10/20 支部会

［審議・検討事項］

1. 広報部より、組合ホームページの改定費用：１５万円以内で組合案内と共に作成する・・・・・審議結果　原案通り可決
2. 清風会講演会　①「簡単で安価なＧＰＳについて」（株）コネクト　②「全原連厚生年金基金についての説明」の２本立てとする。
3. 近藤前理事長の東京都功労者賞受賞パーティーについて：

   １２月７日（月）清風会講演会終了後に理事のみで開催する。場所は上野精養軒で午後６時半からを予定。
4. 直納部忘年会：１２月１７日（木） 直納部委員会（ｐｍ5:00 ～） 忘年会（ｐｍ5:30 ～）「根ぎし　宮川」

古紙センター関東地区委員会

［平成２７年１０月２１日（水)］ｐｍ２：00 ～

於）古紙センター会議室

［需要動向］ 15 ／９月　　単位トン、

（　）は対前年同月比、在庫の（　）は在庫率

［関東商組 32 社実績］

［新　聞］	仕入	59,401(99.1%)
	出荷	58,362(99.3%)
	在庫	9,158(15.7%)
［雑　誌］	仕入	49,494(103.3%)
	出荷	47,499(101.1%)
	在庫	9,848(20.7%)
［段ボール］	仕入	133,979(104.5%)
	出荷	130,886(103.2%)
	在庫	13,091(10.0%)

［関東・静岡実績］

［新　聞］	入荷	192,165(91.0%)
	消費	201,935(100.2%)
	在庫	126,259(62.5%)
［雑　誌］	入荷	98,908(96.0%)
	消費	99,985(93.3%)
	在庫	37,537(37.5%)
［段ボール］	入荷	308,044(100.3%)
	消費	318,666(101.9%)
	在庫	83,236(26.1%)

［業者側コメント］

［新聞・雑誌・段ボール］

９月の発生は新聞が前月比でプラス、前年対比で若干のマイナスだったが、段ボールと雑誌は前月比と前年比ともプラスであった。在庫は３品とも増加。要因は中国の国慶節前で輸出が止まった事と、シルバーウィークでトラック不足や渋滞で物流に影響が出た事が考えられる。

輸出価格は段ボール、新聞とも横ばいでミックスは良くない。中国への古紙輸出は３品とも弱く、

特に段ボールは低迷している。

［上物古紙］

９月の東京協組４３社上物古紙データではＤＩＰ向けで前月比、若干のプラスだが前年比ではマイナス。家庭紙向けでは前月比と前年比でプラスになっている。家庭紙は色上が６０％台で低い。上物古紙は慢性的な発生不足。家庭紙メーカーからは引き合いが強く、需要に比べ供給が少ない。

［メーカー側コメント］

段ボール製品の生産は８月～１０月にかけ好調。段原紙は国内出荷が前年を下回り、在庫が46万トンと多く重たく推移。段ボール古紙は９月、発注は横ばい、入荷は雨の影響で悪い、生産は堅調、在庫は減少。１０月は、発注は横ばい、入荷は前月よりは改善、生産は横ばい、在庫は減少するメーカーが多い。

新聞古紙の９月、１０月は発注は横ばい、入荷は悪い、在庫は減少。発生が悪いため一部メーカーでは古紙調達に見合った生産状態。

雑誌の９月は発注が横ばい、入荷は悪い、在庫は微減。１０月は発注が横ばい、入荷は悪い、在庫は減少。雑誌から段ボールへ振替えるメーカー有り。

集直合同委員会

［平成２７年１０月２１日（水）］ｐｍ４：30

於）組合事務局

出席委員１７名（直納１３名・集荷４名）

裾物共販輸出について

平成２７年８月３日締切で直納部員５０社に対して、裾物共販輸出アンケートを実施した。結果は、段ボールの輸出希望社が６社で、可能本数９本（１本トン数２３トン）合計２０７トン。

ミックスの輸出希望社が７社で、可能本数１１本（１本トン数２４．５トン）合計２６９．５トン。

以上の結果から、裾物共販輸出実施の方向で話を進めていく事となった。詳細については、参加組合員が集まって会議で取引商社などを決めていく。

静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会について

役割分担

①市況全体：赤染理事長　②家庭紙関係：上田直納部長　③鈴木委員：輸出動向　④髙木委員：ミックス古紙

市況全般

各問屋とも発生が悪く在庫はランニングストック以下となっている。

家庭紙について

産業古紙は慢性的な発生不足。家庭紙メーカーは原料が足りない状況が続いている。これからも、この状況は変わらない。

集荷の状況

集荷は良くない。毎年１０月は繁忙期だが昨年より酷い状態。毎回、集荷が懇談会に参加しても要望は受け入れられず依然と変わらない状況で、今回、集荷は懇談会に参加しない。

各社の状況

・発生が悪く、在庫はランニングストック状態以下。
・メーカーへの納入は発注量を完全に満たしていない。
・古紙の引き合いは強い。

対　策

・輸出動向でハイプラ等の紙以外の物について話す。
・古紙は何故、暴落しないのか。
・中国の受給関係。
・雑誌にからむ品質問題。
・古紙の掘り起しについてメーカーと共に検討していく。

以上の事のようなお互いがウィン、ウィンになるような話をする。

古紙センター業務委員会

［平成２７年１０月２９日（木)］ pm2：15 ～
於）古紙センター会議室
［1］ 集団回収実施団体への感謝状交付について
（東北地区委員会推選）
［2］ 平成２７年１０月～平成２８年３月の段ボール、新聞、雑誌の消費計画について
［3］ 古紙の需要・市況動向について
＊ページ数の関係で割愛させて頂きます

全原連 平成 27 年度 第 5 回 理事会報告

平成 27 年 10 月 29 日 (木)15:15 ～ 16:45
於）古紙再生促進センター
理事・監事６５名：出席　３１名　欠席０名

Ⅰ．**主要議題**

（1）古紙商品化適格事業所及びＪ－ＢＲＡＮＤ表示ラベルの普及
更なる事業更新の為、適格事業所を有する組合員企業に１００枚ずつラベルを無料配布する。アンケート調査は実施しない。
・Q＆Aの修正案について承認された。
・リーフレットを作成する。

（2）古紙リサイクルアドバイザーの認定申請
適格事業所（関東商組２社２事業所、九州商組１社１事業所）
リサイクルアドバイザー（中部商組１名）

（3）一般社団法人機密抹消協議会への全原連加入
賛助会員として加入する案が承認された。
（入会金６万、年会費３万）

Ⅱ　**諸議題**

各委員会活動報告

1.経営革新委員会
適格事業所認定要件の見直しについて本理事会で了解された。
１１月２２日、２３日に開催予定の委員会で見直し案の検討をする。

2.需給委員会
１２月７日合同委員会開催予定

3. IT 推進委員会
１０月２２日、２３日に委員会開催。ルート回収システムのデモンストレーションの実施

4.渉外広報委員会
１１月５日委員会開催予定

Ⅲ　その他報告事項

1.業務委員会（10 月 29 日開催）

2．日経新聞の古紙市況の取材については地方の事も考慮して応じる

広報誌掲載の広告募集について

組合では、広く業界関係各社から広報誌の広告掲載を募集しております。
広告スペース、場所、料金等の詳細につきまして組合事務局までお問合わせください。

東京都製紙原料協同組合
電　話　０３－３８３１－７９８０
ＦＡＸ　０３－３８３１－７８８０

編集後記

広報部部長　清水弘允

仕事でも日常生活でも相変わらずバタバタしながら過ごしていますが、組合員の皆様は如何お過ごしでしょうか。

早いもので今年も２ヶ月を切る事になりました。お歳暮や年賀状の段取をする時期になり、月並みな表現ながら本当に時間が早く経つと実感します。時間が早く経つと言う事は年を取って来たからなのか、人生が楽しいからなのか辛いからなのか、充実しているからなのか、日々急ぎ立てられているからなのか、人により事情は様々でしょうが、殆どの組合員が等しく感じている所ではないでしょうか。

古紙相場は国内も海外も比較的に安定しています。しかし価格が安定していると言う事は古紙市場が縮小し数量的に供給が増えていない事の裏返しでもあり、悩ましい所です。

さて赤染理事長以下の新執行部は１１月号でも掲載されている様に、各種団体との会合を精力的にこなし、年末に向けて更に忙しい時期に入ります。

広報誌には業界の動き、各業務部の動き、各支部の動きが掲載されています。　また国内の古紙市況だけでなく海外市況も含めた古紙情報が掲載されています。日常の仕事の視点を広くする意味でも是非、広報誌をお役立てください。

組合総合名簿の協賛広告について

広　報　部

この度は、組合総合名簿の協賛広告にご協力いただき誠にありがとうございました。

広報誌では一昨年の１１月号より２年間に渡り、ご協力頂きました企業・団体に対し１回ずつ無料で広告掲載をさせて頂きます。掲載の順番や掲載ページは、こちらの都合で行いますのであらかじめご了承願います。（広告を掲載した号の広報誌は、該当の企業・団体にお送りいたします）

今回は、皆様おなじみの業界誌とコンサルテング会社、おおきな会議や宴会場持つ施設で日頃、ご協力いただいている会社を掲載いたしました。

尚、**有料での掲載も可能ですので、ご希望の際は組合までお申し出ください。料金等は下記のようになります。**

＜広告料金について＞

広報誌は、１月号、３月号、６月号、９月号、１１月号の年５回発行しております。

掲載と同じ２分の１ページの広告を掲載した場合

年１回の掲載：１４,０００円

年２回の掲載：２６,０００円（13,000円×2回）

年３回の掲載：３６,０００円（12,000円×３回）

年４回の掲載：４４,０００円（11,000円×４回）

年５回の掲載：５０,０００円（10,000円×５回）

掲載ページにつきましては広告数によりますが、最終ページに近い順に掲載する予定です。

お申し込みは、東京都製紙原料協同組合

電　話　０３－３８３１－７９８０

ＦＡＸ　０３－３８３１－７８８０